



第488回 9/2 (火)

日本ケアトランポリン普及協会

出演 会長 関 健寿さん

会員 永田あき子さん 園曾頼子さん



高齢者でも、子どもでも安全に跳ぶことができるケアトランポリンは、てすり（C型フープ）をしっかり握って跳びます。

縄跳びで100回跳ぶのは大変ですが、トランポリンでは、自分の体重で沈んで上がってを繰り返すので1分間でそれが跳べます。「ストレスの軽減、筋力アップ、いつも自分の足で歩いていくことを目標」の永田さん、「たまたま入口のモニターで、ケアトランポリンの映像を見て、聞いたら丁度活動をしている日！始めたキッカゲは“この飛び入り参加”」の園曾さん。

「12/7(日) ベテルギウスまつりでの大和市民活動センターカッコーフェスタでは体験会も行予定です。ぜひ体験に来て下さい」と関さんと呼び掛けました。

第489回 9/16 (火)

大和南京玉すだれ&ジャグリングクラブ

出演 会長 村田正和さん(ラッキーさん)

江戸川で泳ぎ、柴又育ちの村田さん…「男はつらいよ」にのっての出演です。「ピエロのラッキーさん」はシリウス、大和市民活動センターなど多くの場所で大活躍です。18年前、当時大和商工会議所メンバーの村田さん、隣の大和市民活動センターのカッコーフェスタに寄った時「何かボランティア活動をしたいな～」と思い



日本の伝統芸「南京玉すだれの会」を発足させ団体登録をしました。次々と祭りやイベント等で声が掛かり、ジャグリングをはじめとして大道芸企画を広がっています。

「色々な芸は脳の活性化・健康維持にも良い！上達の近道はなく地道に取り組んでいくのが大事。“継続は力なり”とラッキーさんは話しました。

第490回 9/30 (火)

カットスタジオみどり

出演 みどりママさん ひなめぐみさん

みどりママさんは、市内で美容室を営みながらイベントやアーティストを応援しています。ひなめぐみさんは、座間市にある「アートステージ」に所属しながら大和市内でも活躍するアーティストです。主にアルコールインクを使ってアート表現をしています。9/7(土)からの「YAMATO ART 100」にお二人は参加しています。

☆手づくり絵本と絵画展

場所：カットスタジオみどり店内

日時：10/14(火) 11/11(火)

12/9(火) 10:00~12:00

☆いくつになっても

アートもマンガ・イラスト大好き展

場所：

cafe COMO

期間：

11/1(土)~

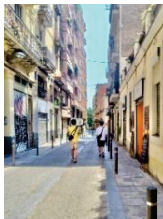
11/30(日)

きてね~



☆10月の出演 第491回 10/7 筆つき〜ず 第492回 10/21 myselfours
FMやまと 77.7MHz 第1.3.5(火) 放送 9:00~9:30 同日再放送 15:00~15:30

TSUBASA's トーク 第48回 イギリス&スペイン旅行(スペイン編)



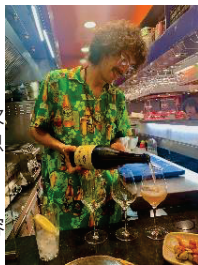
ロンドンのヒースロー空港からスペインのバルセロナ=エル・プラット空港に約2時間かけて移動した。バルセロナには3年前のボランティアで出会った方の、いとこが住んでいるということで、その人に会いに行くのが一つの目的だった。

バルセロナは海と山に面した街で、主な観光地は路線バスで充分回れるくらい小さな印象を受けた。道が格子状に並んでいて、海から離れるにつれて傾斜のある坂を上った。大通りにはホテルやレストランが並んでいて、一步細い道に入ると現地の人が住む建物が並んでいる。スマホの地図を頼りに、いとこのKさんの家になんとか到着し、昼食のため旦那さんが待つというバルへ向かった。

屋台のような雰囲気のあるバルでは、早速オレンジワインとズッキーニ料理やパエリアを注文し、夫婦から渡された悪酔い防止の薬を飲んだ。ご主人のTさんとKさんは40代で、20年ほど前に日本からそれぞれ移住してきたらしい。Tさんは現地でレストランを営んでいるシェフで、Kさんはそれを手伝いつつ日本法人のメーカーで秘書の仕事をしている。お二人ともお酒と料理が好きで、ワインの産地や風味の違いを詳しく教えてくれた。

話が盛り上がると僕についても色々きかれた。Kさんは「ところで翼くん、彼女が彼氏いるの?」「どんな人がタイプ?」「なんで新卒で働かずに花泉(岩手県)のボランティア先)に行っちゃったの?」と次々きいてくる。嫌味っぽさがないのがすごいなと思った。バルセロナでは同性のカップルも、日本よりずっと自然に受け入れられているらしい。

僕の印象では、スペイン人はお互いの個性に寛容な雰囲気でも、バルやお祭りなど賑やかなことが好き。ただ、仕事は日本人より適当だと思った。宿泊先は現地のホテルだった。2段ベッドが並ぶ10人部屋で、案内されたベッドは誰かが使った形跡がある。

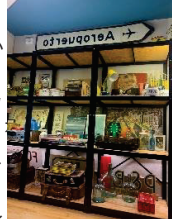


受付の男性に尋ねると、「空いている場所があるはずだからそこを使って。ここはみんなで使う場所だから、ある程度は受け入れてね。」とのこと。名簿くらいチェックしてほしいと思い、仕方なくそのベッドに寝ることにした。案外快適ですぐに眠ったが、「ここは俺のベッドだ」とイギリス人の男性に起こされた。「ベッドの下にカバンをしまっている。電源のアダプタも自分のものだ」と、正当さを主張してくる。こちらも「ここに案内されたんだ」と、寝起きで事情を説明した。ようやくお互いの状況を理解し、受付に行ったが、すでに寝ていて誰も出てこない。揉めたイギリス人とも、「こりやだめだ」と話し、一緒にアーモンドを食べて仲良くなってしまった。結局、彼は使われていないベッドを探してそこに寝た。

観光で訪れたサグラダ・ファミリアも、「無期限での建築って日本ではありえない」と思っていたが、内部をみるとその素晴らしさに圧倒された。キリスト教の信仰をもとにガウディに設計されたそこは、赤のステンドグラスに夕日がさして、天井は見上げるくらいに高かった。観光客にスマホを渡すのはためらったが、年配の夫婦を見極めて写真を撮ってもらった。「人ってこれほどのものを作れるんだ」「いつ完成するのかな」と、完成しないことでの期待感がまた良いなと思った。

大胆に飛び出したヨーロッパ旅行だったが、ロンドンの友人やバルセロナの夫婦に助けてもらい、無事に過ごすことができた。食文化や建築に触れたことで、自分の感性や興味をより伸ばしてみたいと思った。また違う背景を持つ人たちとも多く出会い、「他人を受け入れられる自分でいたい」「自由に生き方を選んで良いんだ」と思うことができた。

サポーター 尾畑 翼



あの手 この手

あの手この手で考えて、あの手この手で問題解決!

あの手この手のマークの間のSIは solution(解決)のSです。

第219号 2025年 10月10日 大和市民活動センター【拠点やまと】発行



第17回 全体テーマ

守りたい、平和な世界

Rich Cove 賞 受賞

エルアガミ・ラッヒム さん

(エジプト)

北大和 小学校 2年(当時)

タイトル 「World Peace」

メッセージ

From the Nile to the Fuji, Egypt & Japan,
Journey of Peace

ナイル川から富士山へ、エジプトと日本、
平和の旅

表紙絵は「やまと国際フレンドクラブ」(IFC)主催<やまと国際アートフェスタ>の入賞作品を毎号掲載しています

☆「やまと国際アートフェスタ」は、「やまと国際フレンドクラブ」(IFC) *の主催で毎年開催されています

☆「IFC」は、草の根の国際交流、外国人支援を行っている、「ともにくらすまち大和」を考えるボランティアグループです

第18回 カッコーフェスタ (”活”動”交”流まつり)



「ベテルギウスまつり」の一環です。

参加団体・支援サポーター 募集中

日時 2025年 12月 7日(日)

10~13時

場所 市民活動拠点ベテルギウス

参加団体名・活動内容・レイアウト等
同封チラシをご覧ください。
までにお申し込みください。



-1-

大和市民活動センター登録団体で

活動発表・パネル展示

ワークショップ・パフォーマンス

などで館内を賑やかに盛り上げていただける方

主催：(公財)大和スポーツ・よか・みどり財団

大和市こども青少年みらい課 (公財)大和市国際化協会

(公社)大和市シルバー人材センター

大和市民活動センター 大和・綾瀬・更生保護サポートセンター



大和市民活動センターは「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に基づいて設置されています。
「あの手 この手」 第219号 発行日：2025年 10月 10日 発行：大和市民活動センター 拠点やまと

大和市民活動センター <開館日 月~土 9:00~18:00>
<休館日 12月29日~1月3日・毎月第3月曜日>
〒242-0018 大和市深見西 1-2-17

TEL:046-260-2586 FAX:046-205-5788
e-mail:yamato@ar.wakwak.com
http://www.kyodounokiyoten.com/

市民交流カフェ特別編 みんなでライブペインティング 大きな絵を描こう 10月4日 開催



大和市民活動センターは、共に育ち、共に成長する共育(ともいく)の場として 2004 年 11 月に誕生した、「大和市新しい公共を創造する市民活動推進条例」に謳われた「協働の拠点」です。

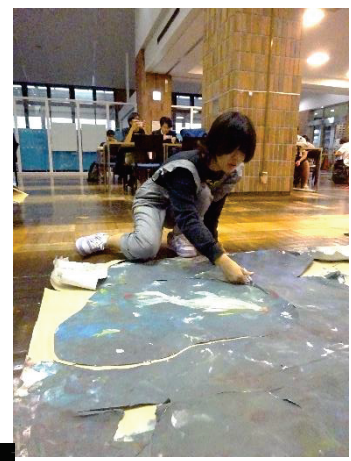
「社会資源の充実を図る」ことを目的として設置され、さまざまな知恵や情報が集積する、ここに集う人たちが「共に育ち合える、みんなが共生するまち大和市」を創っていくための拠点と位置づけられました。以来、市民活動をする人、市民団体、NPO 法人、事業者といった人たちが交流・共育の推進事業に取り組んで来て、昨年の11月に開設20周年を迎えたところです。(2018年4月に、オープン時のプレハブ施設から、現在の「市民活動拠点ベテルギウス」内に移設)

このような中、2025年5月から、市民交流スペースにおいて、こども・若者をはじめとする市民、「部室」利用団体・リゲル入居者など、センターに集うすべての方がふらっと立ち寄れる、「市民交流カフェ」を開店しています。(毎月:第1土曜日と第3水曜日の15時から 17 時 30分まで)

ここでは、ジュース等のペットボトル飲料やホットコーヒーなどを無料で提供するほか、ボードゲーム(オセロゲーム、カードゲーム、ゲーム盤など)、移動式本棚等を用意し、市民が思い思いに過ごし、新しい出会いを得る場としています。

この事業をととして、スタッフやボランティアと一緒に遊んだり、話をしたり、交流カフェに来る小中高生、おとなをつなげる潤滑油となる。そして、こども・若者をはじめとする市民の“やりたい”を知る。場となりはじめていると考えています。

今回は、この「市民交流カフェ」のスペースと時間を使って、特別編「みんなでライブペインティング(大きな絵を描こう)」を開催。ひとりで楽しむから、みんなで楽しむことのほうがどれほど大きいか、違った発見があることをみんなで共有する実験の場として開催しました。(この頁の文責:船越英一)



みんなの楽しかった様子をこの写真たちから感じ取ってください

参加者アンケートから

今回の「大きな絵を描こう」のねらいは、①共同制作の楽しさを体験する、②自分の描いたものがほかの人とつながることで、偶然の面白さを知る ③大きな紙に描くことで、のびのびとした身体表現を促す ④他者との違いを受け入れ重なり合いを楽しむ経験 ⑤自分の描いた色や形が、作品全体の一部になることで達成感と一体感を得るの5つをあげていけれど、参加者(小学校2年生から高校2年生のこどもと保護者の計13名)の感想はそれを超えて自由でした。

○(紙が)やぶれたりすべりそうで大へんかったです。

○久々におもいきりかけて楽しかった。

●こどもたちが自由に大きく描けていてすばらしいなと思いました。大人の私は大きな白い紙を前になんだかぼうぜんとしてしまい、すみの方にえのぐをぬるので精一杯だったので、最後、スケートのように絵の具の上ですべているこどもたちがまぶしくみえました。また参加したいです。

●家で出来ないダイナミックな活動にたまたま来たけど楽しいイベントに参加させて頂けました。(こどもは)はじめはしらないと言っていたけど全身汚れながらたくさん遊びました。ありがとうございました。

○たのしかった

○じゆうに描けてたのしかったです。

●子供に自由に描かせてあげることができた

●普段できない事(えの具をばらまく、ふむ、手でのばす...)を思いっきりできて楽しかったです。みんなで思いがけず重ねた色がキレイだったりして、発見があり、楽しかったです。

○絵の具をふむのが楽しかった。

○歩くので、絵の具がのびたりかんしょくもおもしろかった。最初は手や足がよごれるのがいやだったけど、やってるうちに自由にスケートみたいに歩いたり手や足でのばしたりやってて良かった。こんなに自由にかいたことがなかったからうれしかったです!

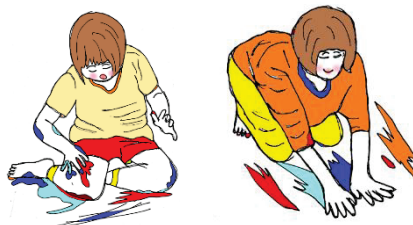
○大きな紙の上を歩く写真を見て、最初はちゅうちょしたけど、いざやってみると、ひんやりしていて楽しかった!みんなで歩いてみても、けんかやトラブルなど起きなくて、とてもたのしかったし、うれしかった!!

○大きな画用紙の上にかくことがはじめてだったから楽しかったです。また足でかいてみたいと思いました。絵の具がたくさんまざっていてきれいでした

○楽しかったです。



この日参加したこどもたち土曜アートサークルの鈴木滋子さん。やりきったね



上記の8人は、当日参加した女子を当センターの望月さんがオリジナルに書き起こしたもの的一部。どんな方法で描いても大丈夫。その時の気分で。絵を描くってそういうこと。誰でも描けるものです。

9月の展示コーナー

きれいな街からきれいな海に

★海でゴミを見つけたら拾うようにする
★こんな風にきれいな海にしたいって思った。★ゴミをなくすことが大事だなーと思いました など多くの応援メッセージが寄せられました。



市民交流スペース内の「展示コーナー」では、個人・団体の活動の紹介や作品展を行うことができます
申込み方法については市民活動センターまでお問い合わせ下さい